

第12回 狂言全集

人間のおかしさ、悲しさ、愚かしさ。狂言の哲学がここにある。

「栗焼」
撮影：尾形美砂子



「二人大名」
撮影：神田佳明



「船渡聲」
撮影：神田佳明



2020年10月17日(土)

14:00開演(13:30開場)

川崎能楽堂

3,000円(全席指定)

「^ふた^り ^{だい} ^み ^{ょう} ^ふ ^た ^り ^{だい} ^み ^{ょう}」 山本 則俊

「^{くり} ^や ^き ^{くり} ^や ^き」 山本 則重

「^ふ ^な ^{わた} ^し ^む ^こ ^ふ ^な ^{わた} ^し ^む ^こ」 山本東次郎(人間国宝)

狂言のお話 山本東次郎

■チケット発売 2020年9月11日(金)9:00より

川崎能楽堂 電話・ホームページにて発売(初日は電話・ホームページのみ。先着順)

*残数があれば、翌日以降に川崎能楽堂窓口でも販売いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、販売方法が例年と異なりますので予めご了承ください。

※回線混雑のため、電話が繋がるまでにお時間をいただく場合がございます。

※座席は前後左右を空け、半数の席で販売いたします。

■チケット取扱・お問合せ 川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37

■受付時間 窓口・電話 9:00~17:00(※水曜定休日)



川崎市文化財団ホームページ

<https://www.kbz.or.jp/event/noh/20201017/>

ホームページより申し込みの場合、予約確定は申し込んだ日の翌日となる他、座席指定はできません。

◎主催/(公財)川崎市文化財団 川崎市幸区大宮町1310番地 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL 044-272-7366 FAX 044-544-9647

◎後援/「音楽のまち・かわさき」推進協議会

*開演後にご入場いただけない場合がございます。また、新型コロナウイルスの影響により、日時・内容等変更になる場合がございますので予めご了承ください。


beyond
2020

第12回 狂言全集

狂言全集とは... 現代に息づく伝統芸能であり、人間のおかしさ、悲しさ、愚かしさを笑いや風刺に包み込んで表現する狂言。そこで演じられる人間の本质は、現代にも通じるものがあります。現在上演されている狂言はおよそ200番。この狂言全集では、その中から主要な作品をシリーズでお届けします。狂言が初めての方も、そうでない方も、伝統芸能の奥深さ、面白さを楽しんでいただける内容です。

狂言「二人大名」

ふたりだいみょう
シテ(通りの者)… 山本 則俊 アド(大名 乙)…… 山本 則孝
アド(大名 甲)…… 山本泰太郎

供を連れずに都へ上る二人の大名は途中、太刀を持つ召使いが欲しいと、行きずりの男を無理矢理脅して太刀持ちにしてしまう。あまりの理不尽に怒った男は、隙を見て持たされた太刀を抜き、大名達を脅します。両者の立場は逆転し、男は大名達を黽(なぶ)ってやろうと、身ぐるみ剥いで、鶏や犬や起き上がり小法師の真似をさせます。命惜しさに嫌々ながら言うなりになっていた大名達でしたが、次第に重く余分なものを脱ぎ捨てることで、心も軽やかになってゆくのでした。



撮影:神田佳明

狂言「栗焼」

くりやき
シテ(太郎冠者)…… 山本 則重 アド(主)…… 山本 則秀

主人は太郎冠者を呼び出し、さる方からもらった栗が四十個あることの意味を思案させます。太郎冠者が“しじゅう(始終)末代まで仲良く”と判ずるので喜んだ主人は、皆にご馳走したいので焼き栗にするよう命じます。太郎冠者は囲炉裏で栗を焼きはじめ、焼きあがった栗を主人のもとへ持っていこうとしますが、いかにも美味しそうなので一つだけと試食をします。するとあまりの美味しさにもう一つ、もう一つと全部食べてしまいました。そこで主人に言いわけをしようとする。

* 言いわけ
竈の神夫婦と三十四人の公達に進上したとごまかします。しかし、主人はあと四つの栗を太郎冠者に催促するので、一つは虫食い、三つは逃げ栗・追い栗・灰まみれになったと答えて叱られます。



撮影:尾形美砂子

狂言「船渡聲」

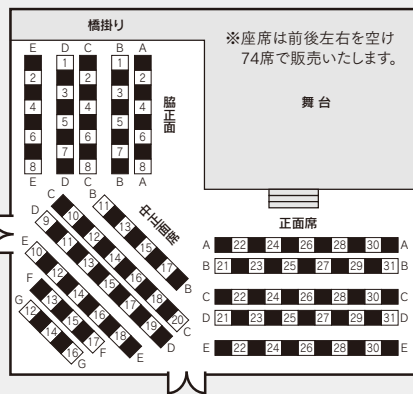
ふなわたしむこ
シテ(船頭)…… 山本東次郎 アド(太郎冠者)… 若松 隆
アド(舅)…… 山本 則俊 アド(聲)…… 山本凜太郎

聲入のため舅の家に出掛ける聲、川を渡ろうと船頭に声を掛け、船に乗る。供も連れず自分で酒樽下げた聲の様子に、船頭はいきさつを尋ねるが、聲入の聲みずからが酒樽持参では格好が悪いと見栄を張ってごまかす。寒風に吹かれながら辛い労働に携わる自分の身に引き換え、きらびやかな服装で悠々と遊びに行く若者と誤解した船頭、さすればこの酒は所望しても一向構わない酒と見た。手が凍えては櫓を押すことができないと船を流され、驚いた聲は止む無く酒樽の封を切る。

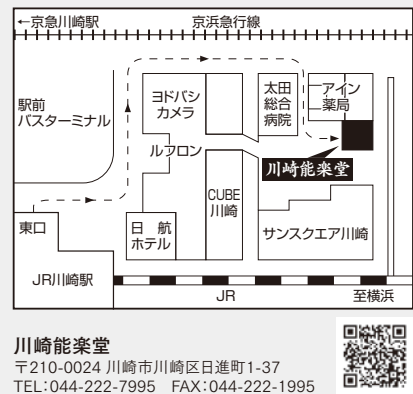


撮影:神田佳明

次回公演のお知らせ
■第121回 川崎市定期能~観世流梅若会~
【開催日】2020年12月12日(土)
【第1部】狂言「未定」
能「橋弁慶」角当行雄
【第2部】狂言「未定」
能「夜討曾我」梅若 実
チケット発売:11月6日(金)発売予定
■野村万蔵による芸能サロン~狂言を楽しもう~
【開催日】2021年1月11日(月・祝)14時開演
お話し……野村 万蔵
狂言「仏師」野村万之丞
狂言「木六駄」野村 万蔵
※日時、内容等変更になる場合がございます。予めご了承ください。



川崎能楽堂座席表(148席)



川崎能楽堂案内図
JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(へ)JR川崎駅まで)
品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。